

先輩からの メッセージ

日本体育大学附属高等支援学校は、他の学校よりも体をたくさん動かしたり、運動を楽しんだりするスポーツの学校です。午後の授業はほとんど体育や部活動の時間で、僕はNスポーツ部に所属しています。Nスポーツ部の『N』にはたくさんの意味を持っており、軽スポーツを始め、今までやったことがなかった様々なスポーツに取り組んでいます。

勉強や体育の授業以外にも作業学習や、学校を離れてオホーツク管内を中心に道内の色々なところに行くフィールド学習なども充実しています。ちなみに今までの中で一番楽しかったフィールド学習は、美幌峠や、屈斜路湖などに行って高い峠から景色を眺めたりしたことが楽しかったです。

紹介したいことはたくさんありますが、ぜひこの学校に来てみてください。

僕たち3年生はこの学校の一期生です。なにをするにも新しいことばかりで、先生達と一緒にこの学校を作ってきました。

僕は名古屋から初めて親もとを離れ、北海道に来ました。最初は心配や不安になり、寂しくなることもありましたが、自分から親元を離れる決意をしたので、仲間と共に助け合い、とても楽しく充実した毎日を送っています。

卒業したら地元に戻り上級学校への進学を目指しています。僕たち1期生が経験したように3年間はあっという間です。3年間の学校生活を大切し、この学校でいろいろな体験を通してなりた自分になれるよう頑張ってください。

ばんの かずや
3年 阪野 和也
(愛知県名古屋市立
神沢中学校出身)



まつうら わたる
2年 松浦 航
(北海道北見市立
端野中学校出身)

制服



学費

入学時手続金	入 学 金	150,000円
	施設整備負担金	150,000円
学 費 (月額)	授 業 料	28,000円
	教育充実費	5,000円
	給 食 費	10,000円
寄宿舎費用(月額)	寮 費	30,000円
	食 費	30,000円

※その他諸経費として、年間約20,000円を予定しています。
※2年次・3年次進級時に、施設整備負担金50,000円を納入していただきます。

学費をはじめ、生活費や自宅への帰省費など、様々な面の金銭的負担が軽減または補助される制度があります。

詳しくは本校までお気軽にご相談、お問い合わせください。

【授業料の負担軽減】

国の就学支援制度・北海道の私立学校授業料軽減制度
一定の収入額未満の生徒の世帯に対して、授業料等に充てる支援金を国及び北海道が支給し、家庭での教育費負担を軽減する制度です。返済は不要です。

就学奨励費

障がいのある生徒の教育関係経費について、世帯総所得により、保護者の負担を補助する仕組みです。支給は保護者の申請に基づき行われます。

網走市からの入学支援補助金

北海道網走市のまちづくり事業として、本校保護者の入学時の経済的負担を軽減するため、入学確定後に入学金の150,000円を支給する制度です。

生徒の 育成

生きる力を培う 3つの柱。

スポーツ・労作・情操の3つの柱で
基本的な生活習慣を身につけた生徒を育成します。



スポーツ教育 体育、部活動を通して、たくましい体、健やかな心を育む

週10時間(年間350時間)保健体育の授業を行います。全生徒が器械体操や球技、武道などを学び、体力や健康、ルールとマナーを守る姿勢を身に付けます。また、専門的な技術の習得や陸上、卓球、水泳の各競技の高体連大会での活躍を目指し、専門体育の授業を行っています。スポーツ施設も充実しており、2つある体育館には柔道場やトレーニング機器を完備し、屋外グラウンドをはじめ、国内で2例目となるオールシーズン対応の150m直線走路があります。



日体大アスリートサポートシステム

毎月実施している体力テストなどの結果を日体大に送り、分析・指導ポイントのアドバイスをいただいています。日本体育大学と連携し、最新の研究に基づくデータ分析を生徒にフィードバックし、体育指導・部活指導に役立てています。

労作教育 作業実習、就労実習を通して働くことの楽しさ、尊さを培う

週8時間(年間280時間)作業学習(農業・園芸・木工・環境サービス・陶芸・受注・陶芸等)の授業を行います。この授業では卒業後の社会自立することを目指し、様々な体験的学習活動を通して得意なことを伸ばし、不得意なことを克服することで、自信へとつなげることを目的としています。



情操教育 芸術、ダンスなど様々な学習を通して豊かな感性を養う

豊かな感受性を養い、充実した生活を送る目的で芸術(音楽・美術)などの授業を行います。校舎3階ワンフロアすべてが情操教育に対応した特別教室を設置しています。自分の興味関心を最大限に生かせる空間として、授業だけでなく休み時間等も利用できます。



お気軽にお問い合わせください



学校法人 日本体育大学
日本体育大学附属高等支援学校
Educational Foundation of Nippon Sport Science University Group
〒093-0045 北海道網走市大曲1丁目6番地1号

TEL: 0152-67-9141 / FAX: 0152-67-9142
http://s-nittai.ed.jp
E-mail fuzoku.info@s-nittai.ed.jp



NITTAIDAI



ほろ獅子吼する！
オホーツクの大地で



日本体育大学 附属高等支援学校 学校案内





生徒の1年

自然に恵まれた地の利を利用して心躍る体験を作り出し豊かな人間性を育みます。

春



入学式(4月)

芝桜公園(5月)

高体連集約大会(5月)
他学校の高校生たちと競い合い、練習の成果を発揮できるように頑張ります。



フィールド学習は北海道の大自然が教材です!

本校の学習カリキュラムで行っている自立学習や総合的な探求の時間に机上で学習した内容を元に、実際に目で見て、肌で感じる学習を月に1~2回程度実施しています。本校所有のマイクロバスを使用し、北海道オホーツクの大地を駆け回ります。世界遺産『知床』をはじめ、大自然を満喫できる壮大なスケールの学習活動です。



夏

小清水原生花園(6月)
総合学習の時間に、草花の観察・スケッチを行います。

ワッカ原生花園(6月)

宿泊研修(6月)



生徒の1日

共同生活を通じて、コミュニケーション能力を養い、社会参加するための基礎を身につけます。

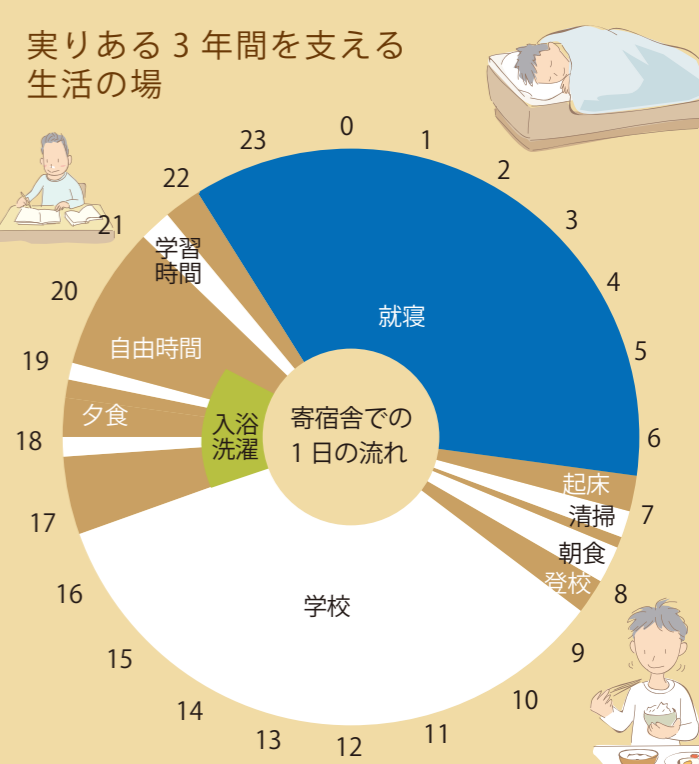
生徒一人ひとりの「やりたいこと」を実現する

本校は、学校教育方施行規則130条2による各教科等を合わせた教育課程を編成しています。

		単位数
各教科別の指導	保健体育	4
	数 学	1
	英 語	1
	情 報	1
専門的な学習	専門体育	6
教科書等を合わせた指導	作業学習	8
	自立学習	4
	芸 術	2
領域別の学習	日常生活の指導	5
	自立活動	1
	特別活動	1
総合的な探求の時間		1
合 計		35

合わせた指導および道徳

自立学習: 自立活動と国語や理科、社会等の教科を合わせて行う
 芸 術: 音楽と美術、自立活動を合わせて行う
 作業学習: 職業と家庭科、自立活動を合わせて行う
 日常生活の指導: SHR、更衣、給食準備・片付け
 道徳は全教育活動を通して、適切に実施する



秋

オホーツク網走マラソン(9月)
全国各地からランナーが訪れるマラソン(5km)に参加します。育てた野菜の配布も行います。

現場実習(9月)
グループごとに様々な職場を体験し、仕事の楽しさや厳しさを学びます。

世界自然遺産知床(9月)



冬

スキー学習(2月)

修学旅行(11月)

カーリング体験(2月)

オーロラ号乗船(3月)
オホーツク海を一面に覆う流水の迫りに圧倒されます。



自然の温もりを活かした学びの場

美術室 教室 第一体育館 第二体育館 実習室
 グラウンド 国内最大級の室内走路 150M×4コース
 調理室 屋内走路(NARS(ナース))
 天候を気にすることなく本格的な陸上トレーニングができます。



仲間との絆を築く生活の場

寄宿舎は校舎と併設しているため、安全に登下校を行うことができます。また、下校時に負担がないことから、勉強や部活動にも集中しやすいでしょう。指導員が常に控えており、万全のサポート体制を敷いています。